

三浦半島の更なる連携を、政策・制度4市1町首長懇談会を開催！

マホロバマインズ三浦で開催



2018 三浦半島地域連合政策・制度4市1町首長懇談会を4月4日(水)16時30分から開催しました。2012年からこの懇談会をスタートさせ、今年で7年目となります。

「三浦半島の各市町の色々な場所で開催を」との意見を受けて今年三浦市にあるマホロバマインズ三浦の会議室にて行いました。

この首長懇談会では、毎年4月、前年度提出した「政策・制度要求と提言」からテーマをしぼり、提案の実現に向けて意見交換を行っています。

三浦半島地域連合としては、各市町の課題はもとより、三浦半島の4市1町は財政が厳しいことから連携出来る事業は連携をして三浦半島全体で活性化をするように一貫して訴えて来ました。

2013年からは4市1町の首長が主体となり「三浦半島サミット」を立ち上げ、観光を切り口にゴミ処理・消防の広域連携など様々な連携強化が進んでいます。

滋野議長の冒頭挨拶では、日頃の三浦半島地域連合への協力の御礼と政策・制度の実現に向けた更なる連携強化をお願いし、懇談会をスタートしました。

今年度は、日本の相対的貧困率が15%を超え、特に「子どもの貧困」が深刻な問題になっている中、ぞ「フードバンク」「子ども食堂」などに三浦半島地域で連携して取り組むことが出来ないかなどを議論しました。

首長の皆さんには『フードバンクかながわ』が設立されたこと、この2年間で全国の子ども食堂が7倍以上の2,200カ所(神奈川県169カ所)になっていること、などを説明した後、議論を進めました。

今回の議論だけでは結論には至りませんでした。各自自治体とも重要性を再認識して頂くきっかけになったと思います。

意見交換後は懇親会を開催し、更に議論を深めることが出来ました。

今後も三浦半島地域の活性化をはかり「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けて活動を行っていきます。



三浦半島の更なる連携を訴える滋野議長

